

令和4年12月版 (Ver. 1)

小中一貫教育に関するQ & A集



花巻市教育委員会

目 次

「小中一貫教育とは？」編

Q 1	今、なぜ小中一貫教育が必要なのですか。 ……………	1
Q 2	国は、小中一貫教育を進める方針なのですか。 ……………	1
Q 3	小中一貫教育のメリットは何ですか。 ……………	2
Q 4	小中一貫教育の課題（デメリット）は何ですか。 ……………	2
Q 5	小中連携教育と小中一貫教育の違いは何ですか。 ……………	3
Q 6	花巻市は、小中一貫教育でどんな子供を育てるのですか。 ……………	3
Q 7	小中一貫教育は、具体的にどんなことをするのですか。 ……………	3
Q 8	小中一貫教育を行う学校には、いくつかのタイプがあると聞いていますが。 ……	4
Q 9	小学校と中学校の校舎が離れている施設分離型では、小中一貫した教育が難しい のではないですか。 ……………	4
Q 10	学年段階の指導区分を「4－3－2」制にすることもできるのですか？ ……	5
Q 11	小中一貫教育の導入で学習の内容は変わるのですか。 ……………	5
Q 12	子供たちの学校生活はどう変わるのですか。 ……………	5
Q 13	小中一貫教育を行っていない学校に転校した場合、困ることはないですか。 …	6
Q 14	小中一貫教育の導入により、学校規模の適正化（統廃合）が進むのですか。 …	6

「施設一体型小中一貫校【義務教育学校◇併設型小学校・中学校】

について」編

- Q 1 5 施設一体型のメリットは何ですか。…………… 7
- Q 1 6 中学校入学を機に、新しい環境で心機一転したいと思っている子もいるのではないのでしょうか。…………… 8
- Q 1 7 施設一体型の小中一貫校の先生の数はどうなるのですか。
また、校長先生や副校長先生はそれぞれ一人になるのですか。…………… 8
- Q 1 8 同じ施設で生活すると、中学校で起こるようなトラブルが小学校でも見られるようになるのではないのでしょうか。…………… 8
- Q 1 9 小学校の卒業式と中学校の入学式はなくなるのですか。また、修学旅行はどうなりますか。…………… 9
- Q 2 0 小学校は1単位時間45分、中学校は50分ですが、授業時間の違いによるチャイムはどうなるのですか。…………… 9
- Q 2 1 運動会などの行事はどうなるのですか。…………… 9
- Q 2 2 施設一体型となり、同じ施設で小学生と中学生と一緒に生活する場合、体格差が大きく危険はないのですか。…………… 9
- Q 2 3 既存の小学校を統廃合するなどして、新しく施設一体型の小中一貫校となる場合、通学はどうなりますか。…………… 10
- Q 2 4 学校名、校歌、制服、名札、校則などはどうなるのですか。…………… 10
- Q 2 5 P T Aはどうなるのですか。…………… 10
- Q 2 6 放課後児童クラブ（学童保育）はどうなるのですか。…………… 11
- Q 2 7 統合後の跡地利用はどうなるのですか。…………… 11
- Q 2 8 花巻市がめざす小中一貫教育について、詳しく知る機会がありますか。… 11

「小中一貫教育」とは？



Q 1 今、なぜ小中一貫教育が必要なのですか？



A 1 小中一貫教育が求められる背景として、主に次のことが挙げられます。

- 近年の教育内容に対応した学力向上の必要性
 - ・小学校高学年への外国語の導入
 - ・プログラミング学習
 - ・ICTの活用
 - ・思考力・判断力・表現力等を育成するための学習活動の充実
 - など
- 発達の早期化への対応の必要性
 - ・身体の早熟化、思春期の早期化
 - ・小学校高学年からの急な自己肯定感の低下
- 小学校高学年からの不登校・長期欠席の増加への対応の必要性
- いわゆる「中1ギャップ」(学校間段差)への対応の必要性
 - ・授業形態、指導方法、評価方法の違い
 - ・生徒指導の手法の違い

花巻市教育委員会では、これまで「小中連携強化事業」等の実施などの連携教育を進めてきましたが、このような課題の解決のため、今後は、義務教育9年間の学びの連続性を踏まえ、児童生徒の発達段階に即した指導ができる「小中一貫校」の導入についても検討が必要と考えています。



Q 2 国は、小中一貫教育を進める方針なのですか？



A 2 平成26年の教育再生実行会議や中央教育審議会において、「日本における急激な少子高齢化の進展、グローバル化に伴う国際競争の激化や人・もの・情報の国境を越えた流通の進展など、厳しい時代を生きる子供たちは、自らの手で自らの人生を切り拓くとともに、多様な価値観を受容し、共生することが求められる。」などとして、教育制度の改善を目指した提言がなされました。その中で、小中一貫教育について、それまでの取組の成果や必要性などから制度化が提言されました。それを受けて、平成28年4月施行の改正学校教育法により、小中一貫教育が「義務教育学校」、「小中一貫型小学校・中学校」という新しい学校制度として位置づけられ、義務教育9年間の系統性のある教育制度として進められることになりました。

このことを受けて、花巻市教育委員会では、平成31年4月に策定した「花巻市立小中学校における適正規模・適正配置に関する基本方針」の中で、花巻地域・石鳥谷地域において、学校統合等の検討を行う場合は、小中一貫校の導入についても併せて検討を行うこととしています。

「小中一貫教育」とは？



Q 3 小中一貫教育のメリットは何ですか？



A 3 小中一貫教育を行ってきた自治体では、次のような成果が報告されています。

- ・児童生徒の学習意欲が向上してきた。
- ・いじめや不登校、暴力行為が減少した。
- ・児童生徒の規範意識が高まった。
- ・指導内容の系統性について教職員の理解が深まった。
- ・小学校・中学校の教職員間で互いの良さを取り入れる意識が高まった。
- ・小学校・中学校の教職員間で協力して指導に当たる意識が高まった。



Q 4 小中一貫教育の課題（デメリット）は何ですか？



A 4 小中一貫教育を行ってきた自治体では、次のような課題が報告されています。

- ・小学校高学年のリーダー性・主体性の育成
- ・教職員の負担感・多忙感
- ・施設分離型における合同授業や交流活動の効率化 など

こうした課題への対応策は長年にわたって蓄積されています。次のような工夫で課題の解消を図りたいと考えています。

小学校高学年でのリーダー性・主体性の育成については、今までどおり小学校高学年でリーダーシップを発揮する場面を多く設定していきます。

なお、義務教育学校や施設一体型小中一貫校では、小中合同行事の実施により、中学生のリーダーシップを小学校高学年が学んでいくことも、さらに期待できると考えています。

教職員の負担感・多忙感については、県教育委員会に教職員の加配を要請したり、ICTの活用で会議や研修の時間確保を行ったりして、負担軽減に向けて取り組んでいきます。



「小中一貫教育」とは？



Q 5 小中連携教育と小中一貫教育の違いは何ですか？



A 5 **小中連携教育**とは、小学校と中学校が互いに情報交換や交流を行うことを通じて小学校から中学校への円滑な接続を目指す教育をいいます。

他方、**小中一貫教育**とは、小中連携教育のうち、小学校と中学校が目指す子供像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育をいいます。



Q 6 花巻市は、小中一貫教育でどんな子供を育てるのですか？



A 6 花巻市内で小中一貫校を設置する場合には、「学び」と「育ち」をつないで、自立して共に生きる子供を育てたいと考えています。また、基礎・基本を確実に身に着け、いかに社会が変化しようと、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、他者とともに力を合わせて問題を解決していく力を育てていきたいと考えています。



Q 7 小中一貫教育は、具体的にどんなことをするのですか？



A 7 小・中学校で「目指す子供像」を共有し、義務教育9年間を一貫した教育方針で子供たちを育てます。

9年間を貫く教育計画「小中一貫教育カリキュラム」により、各教科・ふるさと学習（花巻市や各地域の特色に応じた教育内容）の系統的・継続的な指導を行います。

小学校高学年からは、一部の教科で専門の先生が教えたり（一部教科担任制）、中学校の先生が小学校で教えたりして（乗り入れ授業）、児童の状況に応じた質の高い授業実践を行うとともに、中学校へのスムーズな接続を目指します。

特別支援教育においても、小学校と中学校の連携を密にし、9年間の連続性のある指導・支援を行っていきます。

また、同じ中学校区の小学校間や小学校と中学校間の交流活動を充実させ、思いやりの心やコミュニケーション能力などの社会性を育てていきます。

令和3年度からは、順次、中学校学区単位で学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を設置しています。中学3年生の義務教育の出口をイメージし、学校・家庭・地域が連携して9年間を見通した教育を行っていくことをねらいとしています。

「小中一貫教育」とは？



Q 8 小中一貫教育を行う学校には、いくつかのタイプがあると聞いていますが。



A 8 小中一貫教育を行う学校は、「義務教育学校」と「小中一貫型小学校・中学校」という主に2つの形態があります。

① **義務教育学校**（既存の小中学校を廃止し、新たに9年制の学校を設置）
・ 一人の校長の下で一つの教員組織が一貫した教育課程を編成・実施する9年制の学校で教育を行う形態

※ 最も自由度が高く特色を発揮しやすい形態とされています。

② **小中一貫型小中学校**（併設型小学校・中学校及び連携型小学校・中学校）
それぞれの学校に校長がいる組織上独立した小学校・中学校が、一貫した教育を行う形態

また、小中一貫教育を行う施設の形態には、主に次の3つの種類があります。

ア **施設一体型**：小学校と中学校の校舎の全部又は一部を一体的に設置しているもの
（複数の校舎が渡り廊下で繋がっているものを含みます。）



イ **施設隣接型**：小学校と中学校の校舎を同一の敷地又は隣接する敷地に別々に設置しているもの



ウ **施設分離型**：小学校と中学校の校舎が隣接していない異なる敷地に別々に分離して設置しているもの



Q 9 小学校と中学校の校舎が離れている施設分離型では、小中一貫した教育が難しいのではないですか？



A 9 小・中学校の先生が授業の進め方などを一緒に研究したり、乗り入れ授業を行ったり、小学生同士や小中学生が交流する機会を増やしたりと、学校運営協議会の単位で、工夫しながら連携していくことは可能ですが、先行事例では、離れていることでの非効率さが、小中一貫教育のデメリットとして報告されています。

よって、花巻市で小中一貫校を導入する場合は、最も効率的・効果的に小中一貫教育を行うことができる 施設一体型の義務教育学校又は併設型小学校・中学校が望ましいと考えています。

「小中一貫教育」とは？



Q 1.0 学年段階の指導区分を「4-3-2」制にすることもできるのですか？



A 1.0 小中一貫教育の導入に併せて、児童生徒の様々な成長の段差に適切に対応するなどの観点から、現行の「6-3」制とは異なる学年段階の区切り（例：4-3-2、5-4等）を設けている取組が相当数見られます。（例：大槌学園は「4-3-2」制を採用）

一方、花巻市で義務教育学校を選択する場合は、児童生徒の転校等に配慮し、現行の「6-3」とすることを基本としています。ただし、これ以外の柔軟な区切りを設けることで、中学校段階への接続の円滑化や教育活動の充実等に関して、特に有効性が認められる場合は、「6-3」制以外の区切りを設けることも可能と考えています。



Q 1.1 小中一貫教育の導入で学習の内容は変わるのですか？



A 1.1 基本的に小中一貫教育を開始することによる学習内容の変更はありません。これまでどおり、学習指導要領の内容に基づいた教育活動を行います。

一方で、小中一貫校の定義の一つには、「9年間の連続した教育課程（カリキュラム）を作成し、指導内容や指導方法の系統性を重視する」とあります。

よって、小中一貫校の児童生徒は、教科や領域、各種教育に係る9年間のカリキュラムにより学んでいくこととなります。

このカリキュラムでは、「キャリア教育」や「情報教育」、「伝統や文化をふまえた教育」、「ICT教育」等を継続的に編成することが考えられます。

また、学区によっては、『〇〇〇学』などと名付け、特色あるふるさと学習を推進することも考えられます。



Q 1.2 子供たちの学校生活はどう変わるのですか？



A 1.2 施設一体型の義務教育学校又は併設型小学校・中学校においては、小学校と中学校相互の「乗り入れ授業」や、小学生と中学生の合同行事、合同授業が行いやすいため、その回数が増えます。

また、施設一体型では、小学校と中学校の授業時間の違いによるチャイムの扱い、小学校エリア、中学校エリアのゾーニング等、今までの学校生活と変わってきます。

「小中一貫教育」とは？



Q 1 3 小中一貫教育を行っていない学校に転校した場合、困ることはないですか？



A 1 3 小中一貫教育を行う義務教育学校や併設型小学校・中学校においては、学年を超えた指導内容の入替をすることができますが、花巻市では、各学年の学習指導要領の内容（教科書の内容）をベースに指導を行い、指導内容の前倒し等は行わないことを基本とします。したがって、小中一貫教育を行っていない学校に転校しても、困ることはありません。



Q 1 4 小中一貫教育の導入により、学校規模の適正化（統廃合）が進むのですか？



A 1 4 小中一貫教育は、これまでの先進事例の成果を参考として、花巻市の教育の課題解決と充実を図るために、必要に応じて導入を検討しようとする教育システムです。

また、学校規模の適正化（統廃合）は、少子化により学校の小規模化が進んでいる中で、適正な集団や規模を確保して学校機能が十分発揮できるよう、子供たちにとって望ましい教育環境を整備していくことを目的としています。

したがって、その背景と目的はそれぞれ異なり、小中一貫教育の導入で学校規模の適正化が進むということではありません。

ただ、他の市町村においては、それらの教育的観点から小規模化する小学校を統合し、中学校と一体的に教育を進める施設一体型小中一貫校を整備しているところもあります。なお、国が法令で示す標準とする学校規模は、9年間の人間関係の固定化を招かないために、クラス替えが可能な12学級以上18学級以下を標準としています。

「花巻市立小中学校における適正規模・適正配置に関する基本方針」の中では、すでに地域内の学校が1中学校・1小学校となっている大迫地域・東和地域を除く、花巻地域・石鳥谷地域において、学校統合等の検討を行う場合（原則として、統合等により標準規模の学級数が確保できる場合に限り）は、小中一貫校の導入についても併せて検討を行うこととしています。



施設一体型小中一貫校【義務教育学校◇併設型小学校・中学校】について

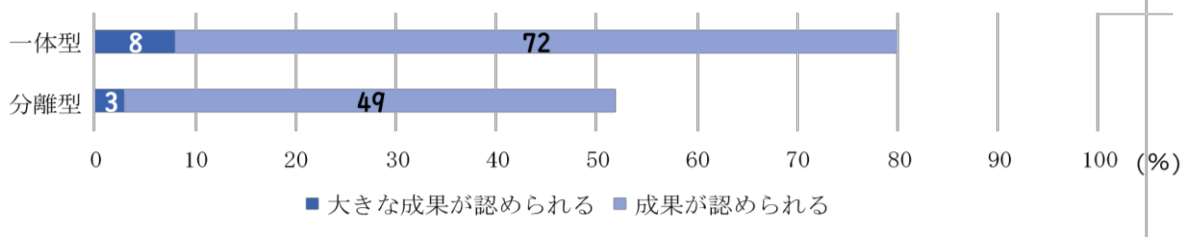


Q 1 5 施設一体型のメリットは何ですか？

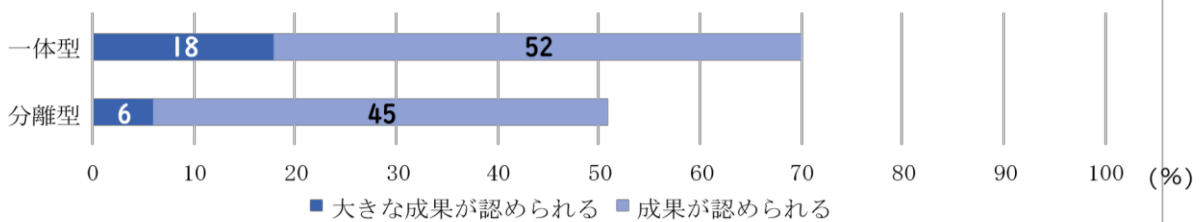


A 1 5 小学校と中学校の児童生徒や教職員が一体となった取組が日常的に可能となるので教育効果が高くなります。先行実施校の調査で次の結果が報告されています。

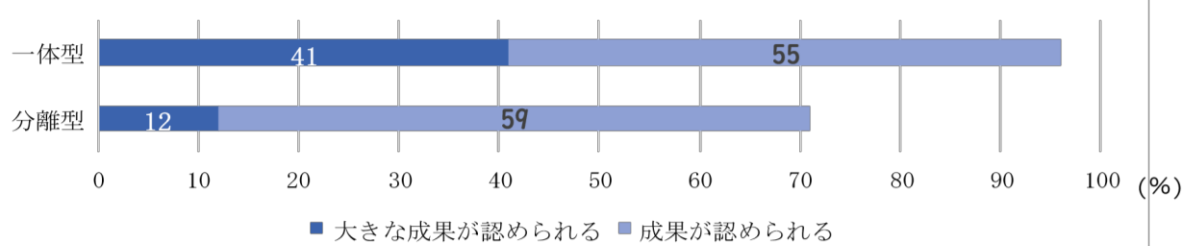
【授業が理解できると答える児童が増えた】



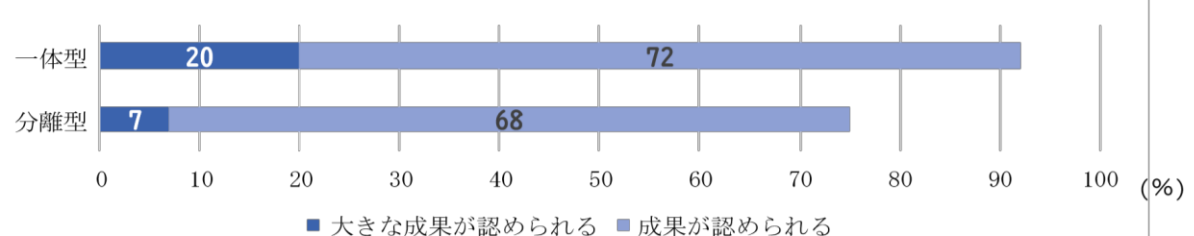
【不登校が減少した】



【上級生が下級生の手本となろうとする意識が高まった】



【下級生に上級生に対する憧れの気持ちが強まった】



(平成 28 年の小中一貫教育の制度化へ向けての基礎資料を得るための調査より)

施設一体型小中一貫校【義務教育学校◇併設型小学校・中学校】について



Q 1 6 中学校入学を機に、新しい環境で心機一転したいと思っ
ている子もいるのではないのでしょうか？



A 1 6 花巻市が進める小中一貫教育は、小学校6年生から中学校1年生にかけての節目を否定するものではなく、子供たちにとって必要な小・中のステップは残しながら、少しでも緩やかなものが望ましいと考えています。

義務教育学校であっても、施設一体型の小中一貫校であっても小学校・中学校は存在するわけですが、中学校進学という大きな節目にあたっては、学校行事を工夫するなど、子供たちが心機一転できるような機会を大切にしたいと思います。



Q 1 7 施設一体型の小中一貫校の先生の数はどうなるのですか？
また、校長先生や副校長先生はそれぞれ一人になるのですか？



A 1 7 施設一体型の併設型小学校・中学校の場合は、小学校と中学校が同じ敷地内にあるという考え方になり、教職員の配置については、従来の小学校・中学校と同様に、それぞれの学級数に応じて教職員数が決まります。

小学校と中学校それぞれに校長と副校長が配置されますが、1人の校長が兼務し、その定数を副校長や教諭等に振り分けることも可能です。

義務教育学校の場合も、教職員は、学級数に応じて配置されますが、既存の小中学校を廃止し、新たに1つの学校を設置することになるので、校長は1人となりますが、副校長は総括担当を含む3人が配置されます。

このほか、小中一貫校では、小学校高学年で理科や算数、体育の専科指導を行う「教科担任制」や中学校教員が小学校へ「乗り入れ授業」を行う場合は、配置の加配が受けられます。また、学校統合による小中一貫校のほか、義務教育学校の場合は、統合前後に、統合支援のための職員加配が受けられます。

なお、施設一体型の小・中学校では、職員室は一つとなり、小・中学校の教職員は一緒に会議などをすることになります。



Q 1 8 同じ施設で生活すると、中学校で起こるようなトラブルが小学校
でも見られるようになるのではないのでしょうか？



A 1 8 小中一貫教育を実施している全国の小中学校の調査では、逆の結果が出ています。

中学生は、小学生の前でよいところを見せようとする意識が高く、また、小学生は、中学生に対する憧れの気持ちを抱くという、よい相乗効果が生まれています。

施設一体型小中一貫校【義務教育学校◇併設型小学校・中学校】について



Q 1 9 小学校の卒業式と中学校の入学式は、なくなるのですか？
また、修学旅行はどうなりますか？



A 1 9 併設型小学校・中学校の場合は、小学校、中学校それぞれで入学式、卒業式を実施します。また、修学旅行も小学校と中学校の両方で行います。
義務教育学校の場合は、学年段階の区切りで、より柔軟な対応も可能となります。



Q 2 0 小学校は1単位時間45分、中学校は50分ですが、授業時間の違いによるチャイムはどうなるのですか？



A 2 0 全国の小中一貫校においては、ノーチャイムや休み時間をずらすなどの工夫で対応しています。
全てのチャイムを揃えることは難しいため、1校時・3校時の始業時と給食時、午後の始業時など一部のチャイムを揃えているところが多いようです。こうした先行事例を参考に、校長が適切に判断し対応します。



Q 2 1 運動会などの行事はどうなるのですか？



A 2 1 運動会などの行事は、合同で実施することができます。準備から練習、当日の運営まで、それぞれの役割を分担・協力しながら、小学生と中学生が一緒になって活動する場面が見られます。
そのほか、始業式や入学式、音楽祭、避難訓練など様々な行事を合同で行うことが考えられます。



Q 2 2 施設一体型となり、同じ施設で小学生と中学生が一緒に生活する場合、体格差が大きく危険はないのですか？



A 2 2 小学生と中学生の体格の差については、学年段階の区切りに対応した校舎や運動スペースのゾーニングなどに十分配慮する必要があると考えています。
一方で、交流スペースなどの共用部分を一緒に活用する中で、中学生が小学校低学年に配慮する姿が見られるようになることも期待できます。

施設一体型小中一貫校【義務教育学校◇併設型小学校・中学校】について



Q 2 3 既存の小学校を統廃合するなどして、新しく施設一体型の小中一貫校となる場合、通学はどうなりますか？



A 2 3 通学距離について、小学校はおおむね4 k m以内、中学校はおおむね6 k m以内と規定されています。（義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令）

花巻市では、学校の統廃合に伴い通学距離が遠くなり、基準を超えて負担を強いることになる児童に対応するためスクールバスやスクールタクシーを導入しています。

スクールバス等の運用については、既存の運用状況を参考にしつつ、運行ルートや停留箇所、運行時間、利用児童の範囲など、保護者と学校を交えた協議により、具体的なルール作りを行うこととなります。



Q 2 4 学校名、校歌、制服、名札、校則などはどうなるのですか？



A 2 4 施設一体型の小中一貫校の場合は、同じ敷地内に小学校と中学校が存在しますので、正式名称は「花巻市立〇〇小学校・花巻市立〇〇中学校」となり、「〇〇学園」のような小中一貫校の愛称を付けるのが一般的です。義務教育学校は、既存の小中学校を統廃合し、1つの学校を設置するので、正式名称が「〇〇学園」となります。

学校名や愛称については、保護者や地域住民も交えて考えていきます。

校歌や制服、名札、体操着などについても、保護者や教職員などで協議して決めていきます。

校則については、学区内の実態に応じた内容として、学校と教育委員会が中心となって、検討を進めます。



Q 2 5 P T Aはどうなるのですか？



A 2 5 小中一貫校では、P T A組織を一体化していくことが考えられます。小学校1年生から中学校3年生までの保護者が様々な行事や活動に関わることにより、子供同士の異学年交流のみならず、保護者同士の交流の活性化も見込めます。例えば、上級学年の保護者から先々のことを聞くことにより、9年間の見通しをもって家庭教育を充実させるといった効果も期待できます。また、小・中双方に子供が在籍する保護者も一定数いることや、少子化の中で会員数の減少が課題となっている団体など、P T A活動の一体化は保護者負担の軽減につながる側面もあります。

施設一体型小中一貫校【義務教育学校◇併設型小学校・中学校】について



Q 2 6 放課後児童クラブ（学童保育）はどのようなのですか？



A 2 6 統合して新しい小学校になる場合、施設一体型の中に作るか、統合後の跡地を活用するか、他の施設を活用する分散型なども含めて、保護者の皆様の要望や放課後児童クラブの運営組織の考えを聞きながら、具体について検討していきます。



Q 2 7 統合後の跡地利用はどのようなのですか？



A 2 7 学童保育、民間活用などを含めて、保護者、地域の皆様の要望を聞きながら、検討していきます。



Q 2 8 花巻市がめざす小中一貫教育について、詳しく知る機会がありますか？



A 2 8 小中一貫校を設置する場合の教育委員会の考え方を記した「花巻市立小中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」は、花巻市ホームページで公開しています。

また、保護者や学校、地域において小中一貫教育や学区内の児童生徒数の推移など、教育行政に関する勉強会を希望する場合は、「教育懇談会」の開催を教育委員会（担当課は教育企画課）にお申し込みください。

教育委員会から、学校や振興センター等に出向いて、希望されるテーマの出前講座・懇談会を行います。

